

令和2年版 柏市死亡小票分析

令和3年3月31日

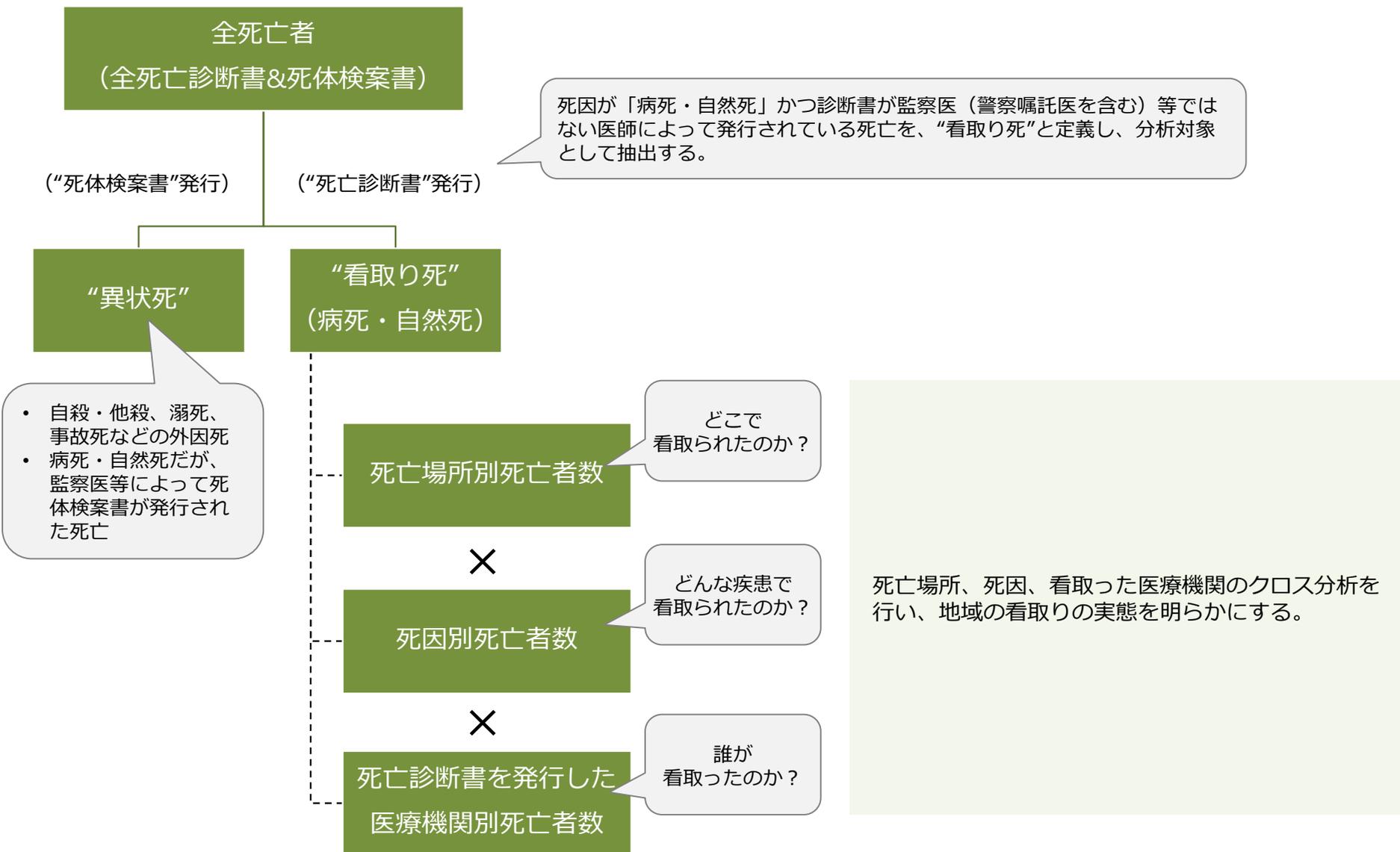
柏市保健福祉部 地域医療推進課

目次

Section.0	調査概要	P.2
Section.1	全死亡者数の推移	P.9
Section.2	死亡診断書・死体検案書発行数の内訳	P.12
Section.3	“看取り死”の推移	P.15
Section.4	自宅での“看取り死”の推移	P.21
Section.5	その他のデータ	P.27

調査概要及び人口データ

死亡小票分析のイメージ



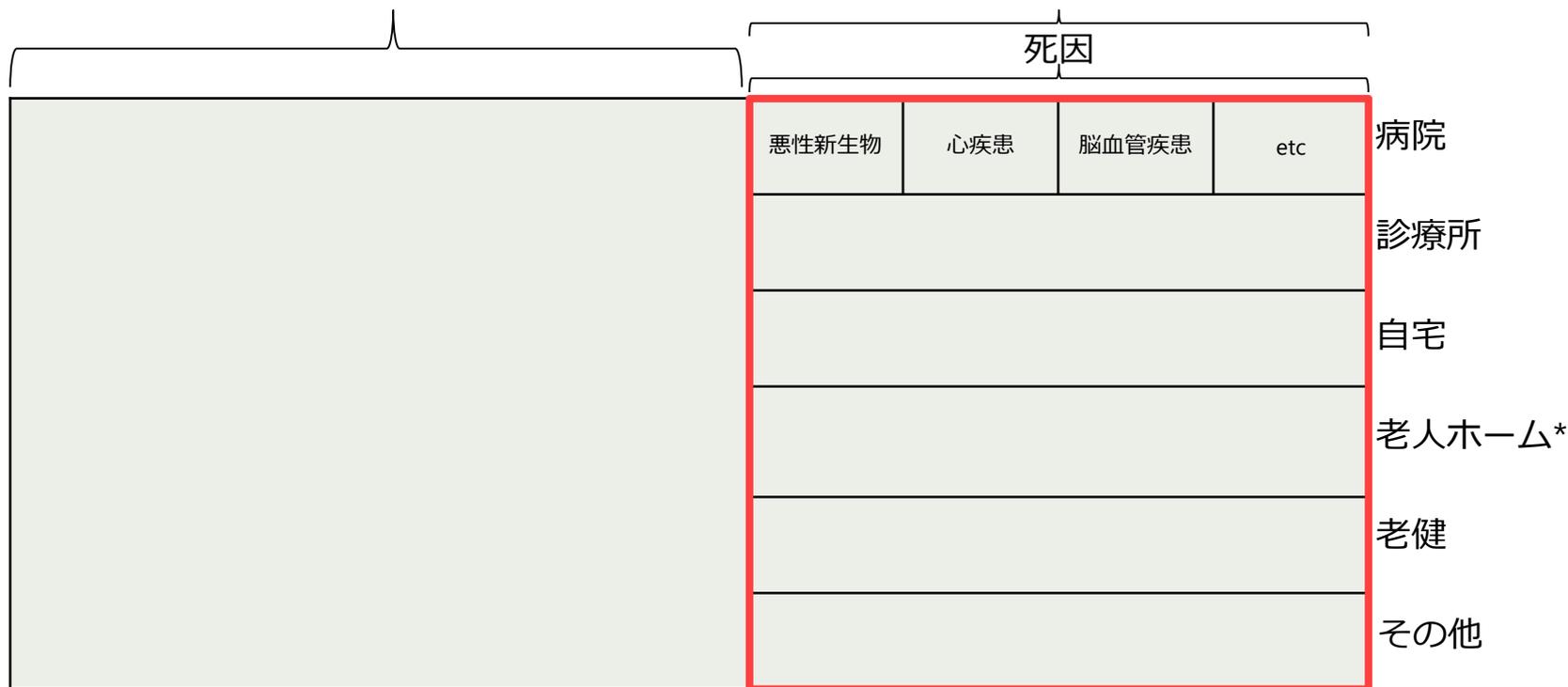
死亡小票データの見取り図

“看取り死”を主な分析対象とします

死亡分類

異状死
(死体検案書発行)

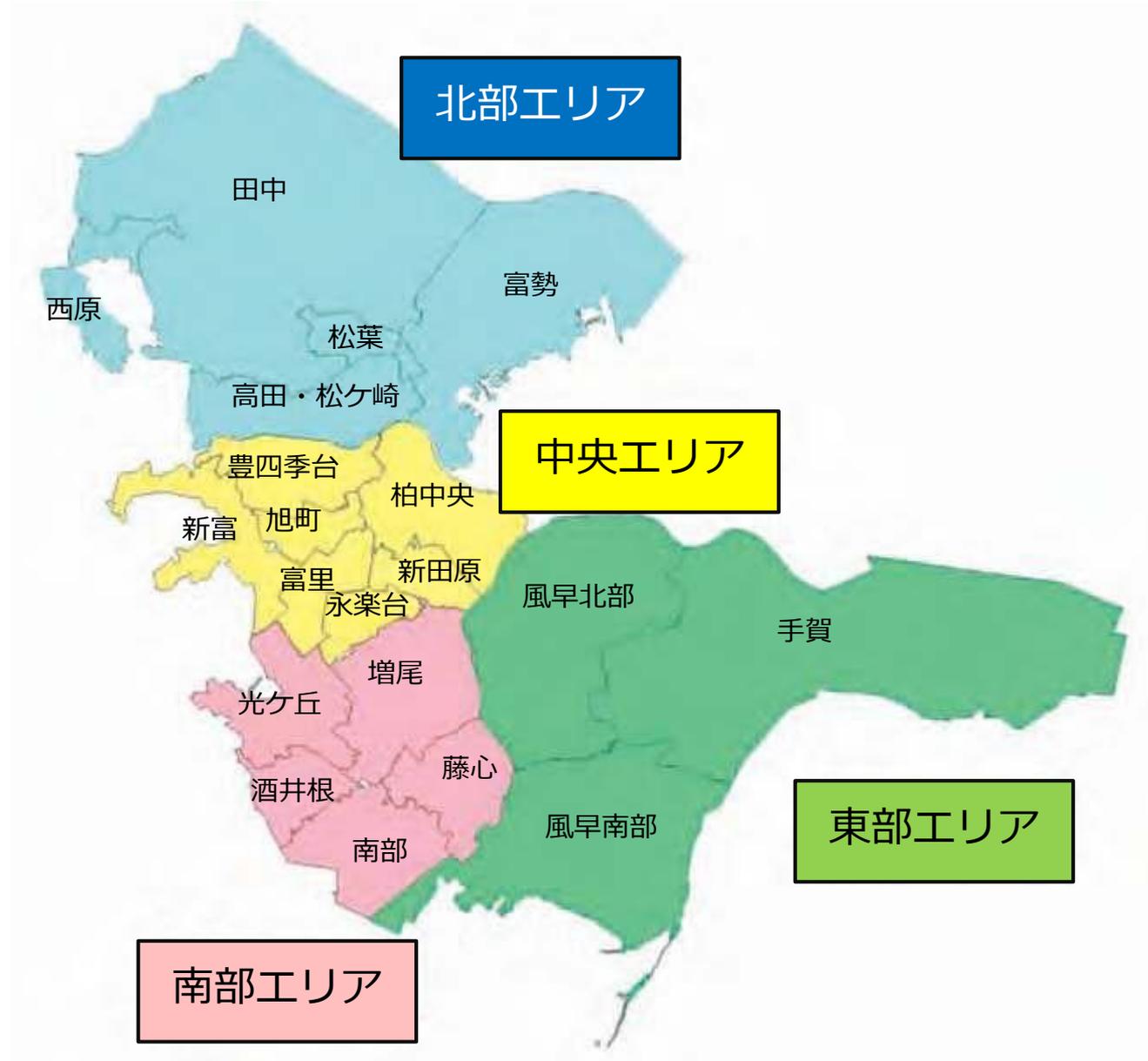
看取り死
(死亡診断書発行)



死亡した場所の種類

*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

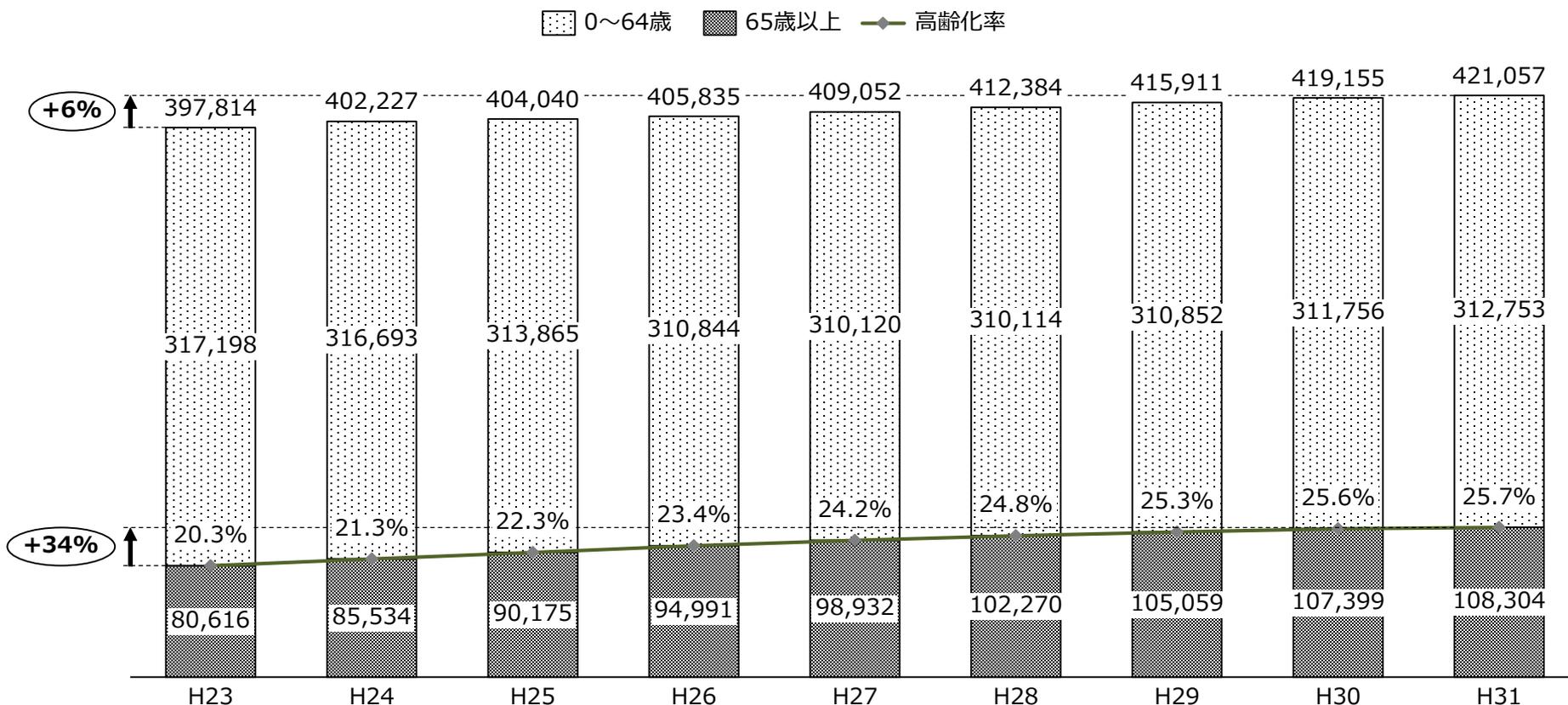
柏市のエリア（地域）の分け方



柏市の人口推移と高齢化率

- 人口は一貫して増加している。
- 平成23年から全体の人口は6%増加、特に65歳以上では34%増加した。

(単位：人)



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）

- 北部、中央エリアの人口は増加、南部、東部エリアは横ばいで推移している。
- 北部エリアを除き、高齢化率は上昇している。

北部

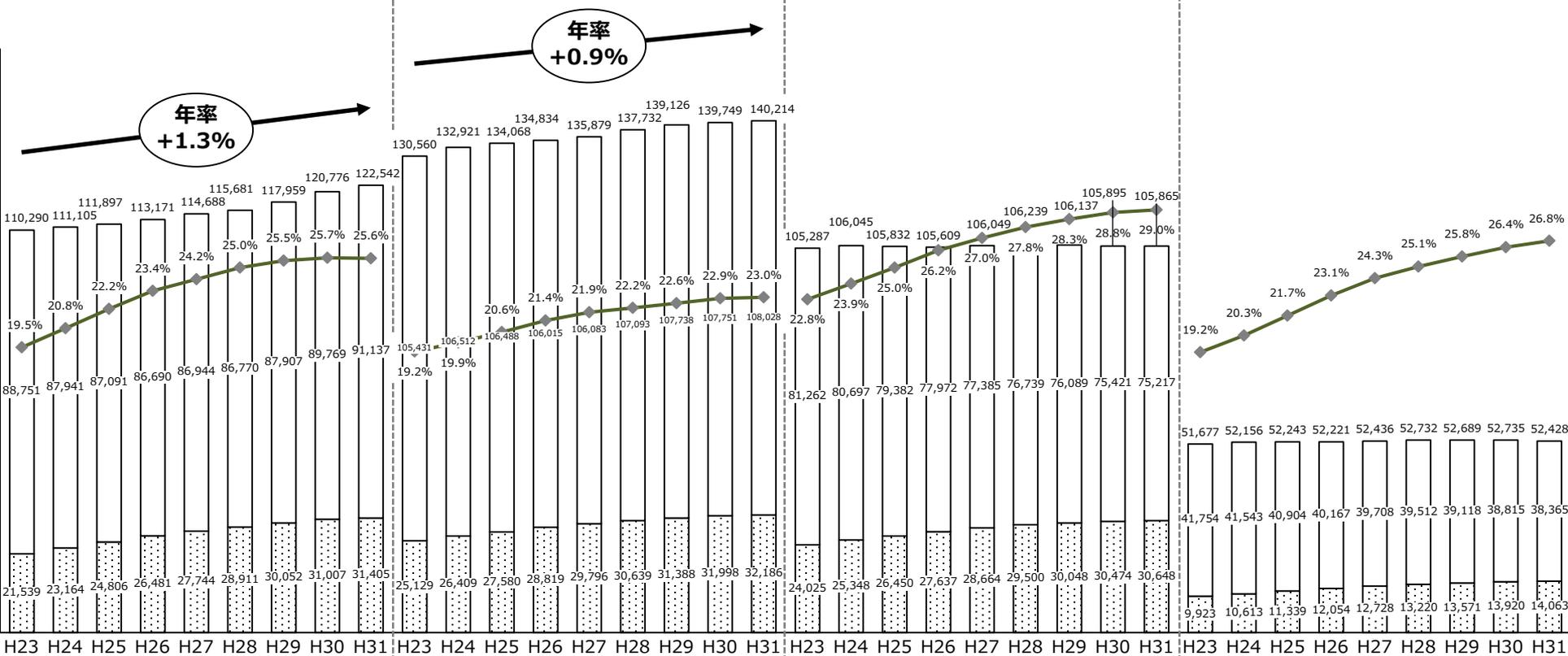
中央

南部

東部

□ 0~64歳 ▨ 65歳以上 ◆ 高齢化率

(単位：人)



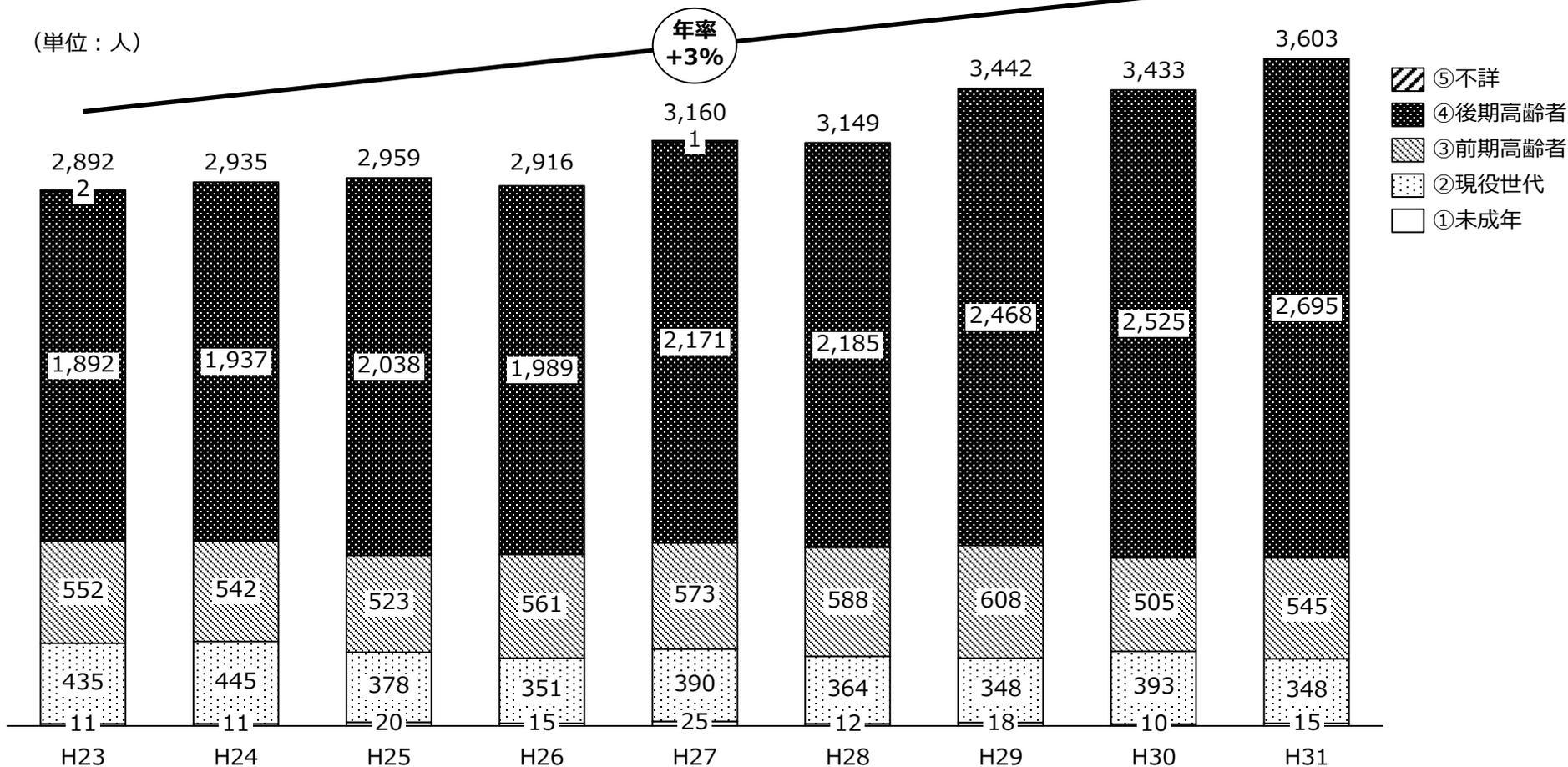
Section.1

全死亡者の推移

死亡者数の推移

- 死亡者数は増加傾向にあり、年率3%で増えている
- 増加分の大多数を後期高齢者が占めている。

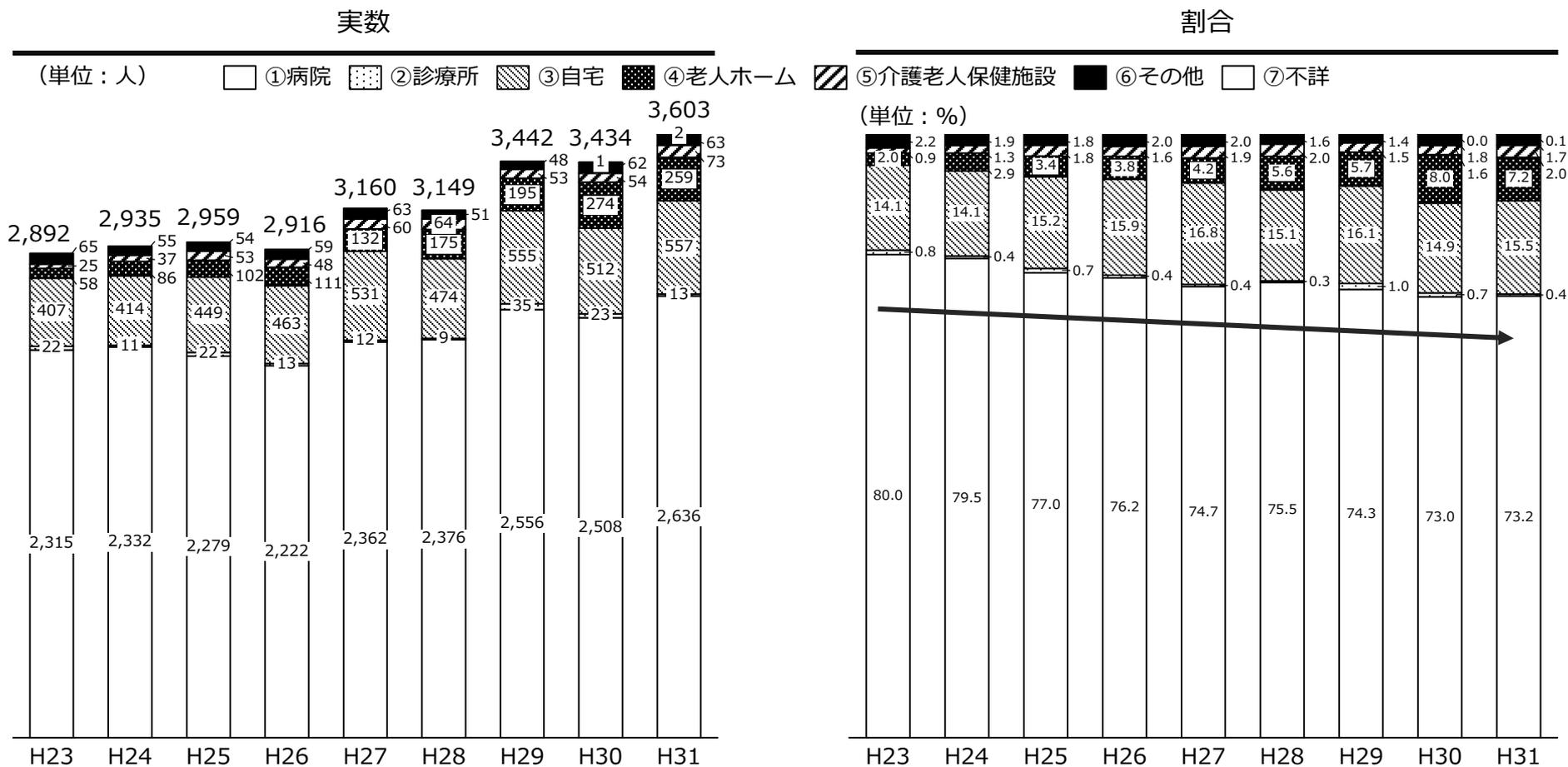
(単位：人)



*年齢区分は以下のように定義した。「①未成年：20歳未満」「②現役世代：20歳以上～65歳未満」、「③前期高齢者：65歳以上～75歳未満」、「④後期高齢者：75歳以上」

死亡場所別の死亡者数の推移

- 全体の死亡者数は平成23年と比較し約24%増加。なかでも老人ホームでの死亡者数は4.5倍になった。
- 割合を見ると、病院が減る一方で自宅と老人ホームが増加している。



死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳

- 死亡診断書とは…

医師が“診察または診療した患者”について発行する「死亡の事実を証明する書類」で、死亡の届け出をする場合には、添付書類として必ず提出しなくてはならない。

- 死体検案書とは…

医師が“生前から診療していない人”の死に対して、検案した一定の事実によって、その人の死亡を証明する文書のこと。死亡診断書が発行されない死亡にはすべて死体検案書が発行される。

(ともに小学館日本大百科全書より引用,一部改変)

死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 全死亡に死亡診断書発行の割合は平成28年以降、88%前後で横ばいで推移している。

実数

割合

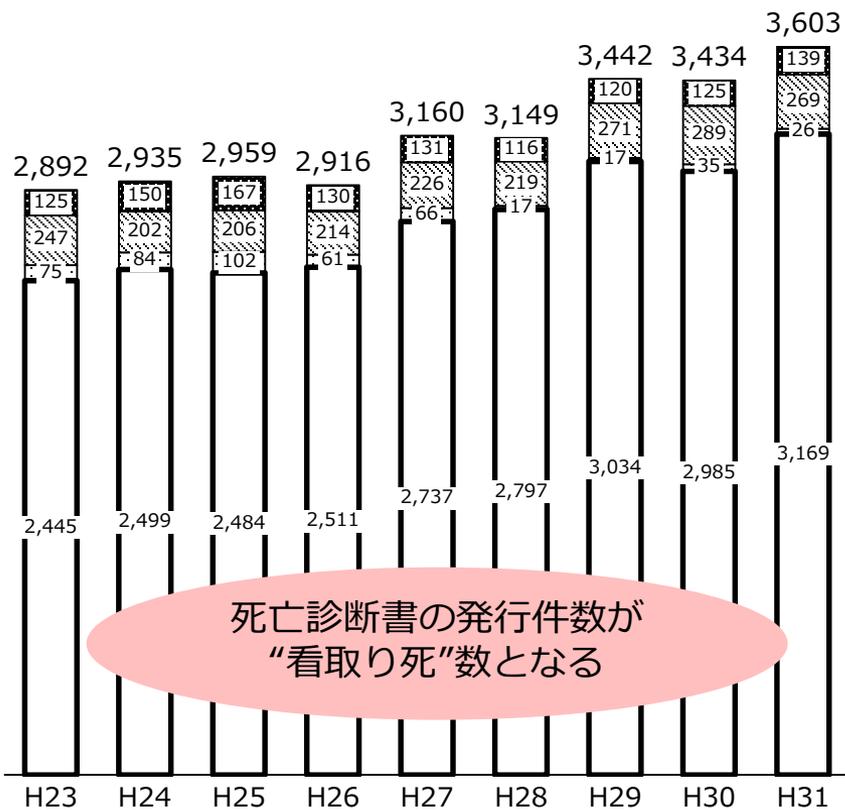
(単位：人)

□ ①死亡診断書発行

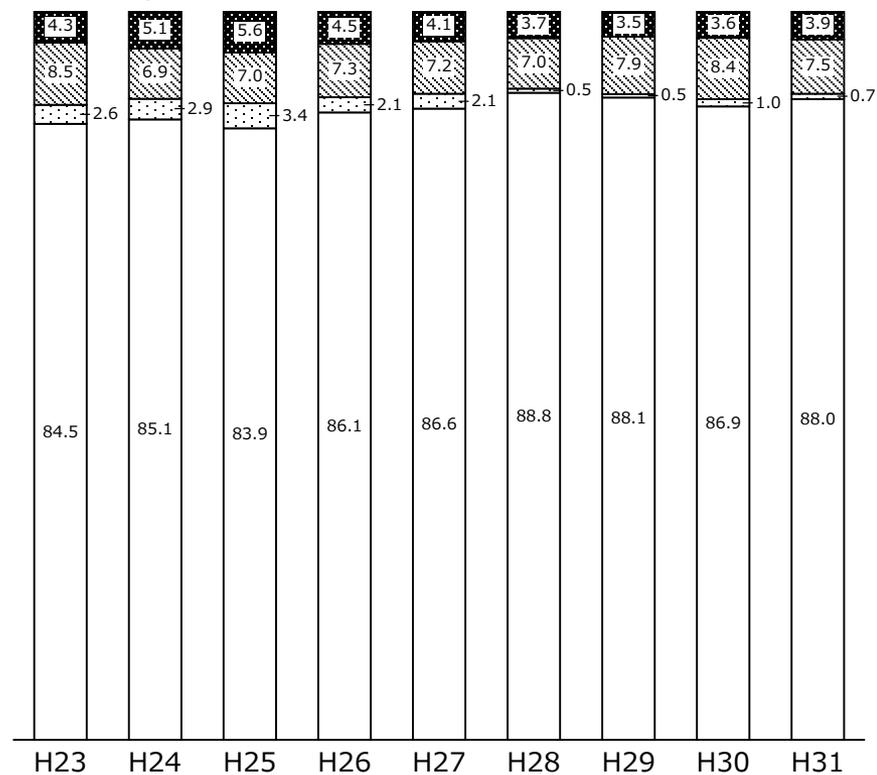
▨ ②死体検案書発行（病死・自然死、非監察医による発行と推定）

▩ ③死体検案書発行（病死・自然死、監察医による発行）

■ ④死体検案書発行（病死・自然死以外）



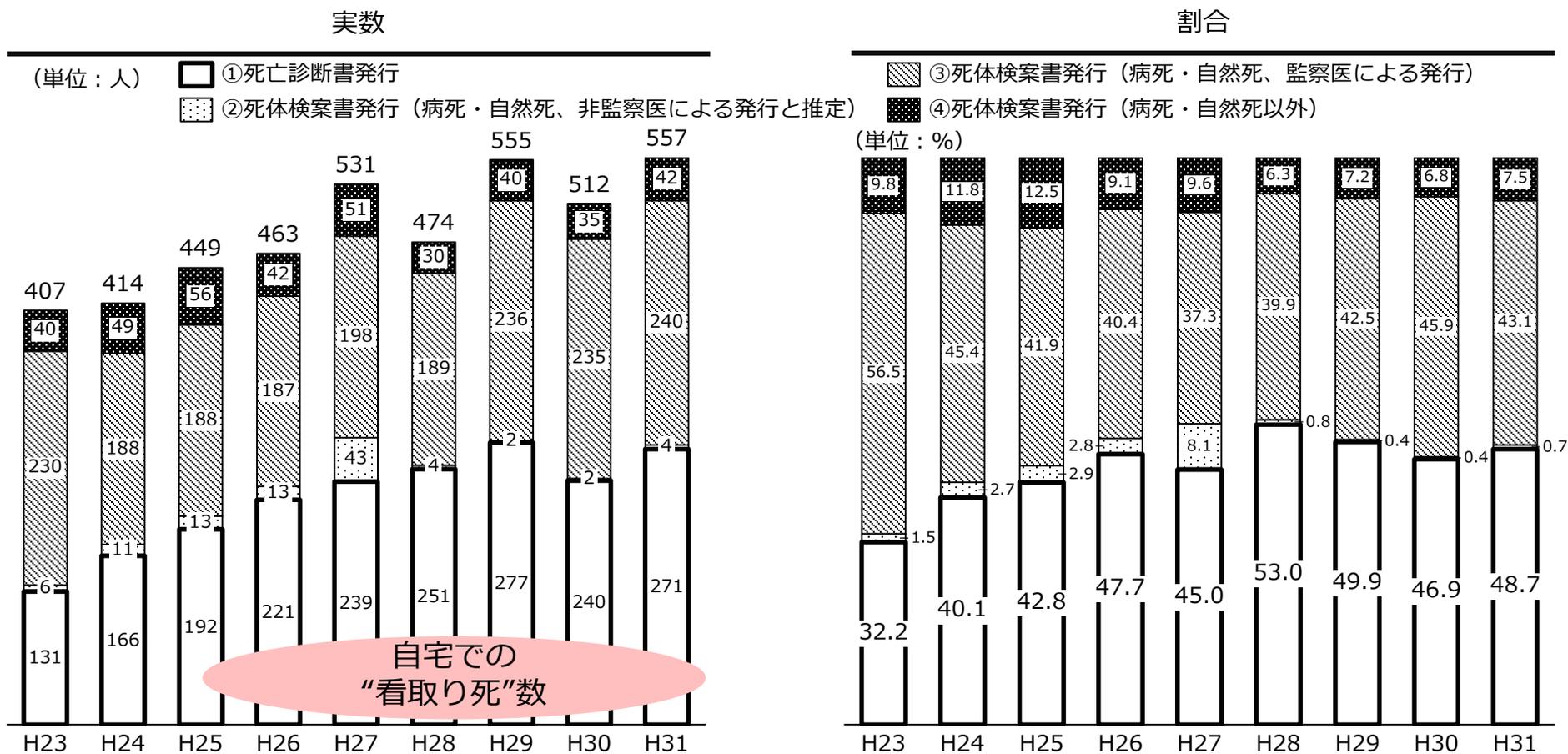
(単位：%)



死亡診断書の発行件数が
“看取り死”数となる

自宅死亡者の死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 自宅での死亡者、そのうちの“看取り死（①死亡診断書発行）”数は平成29年まで増加、その後は横ばいで推移している。



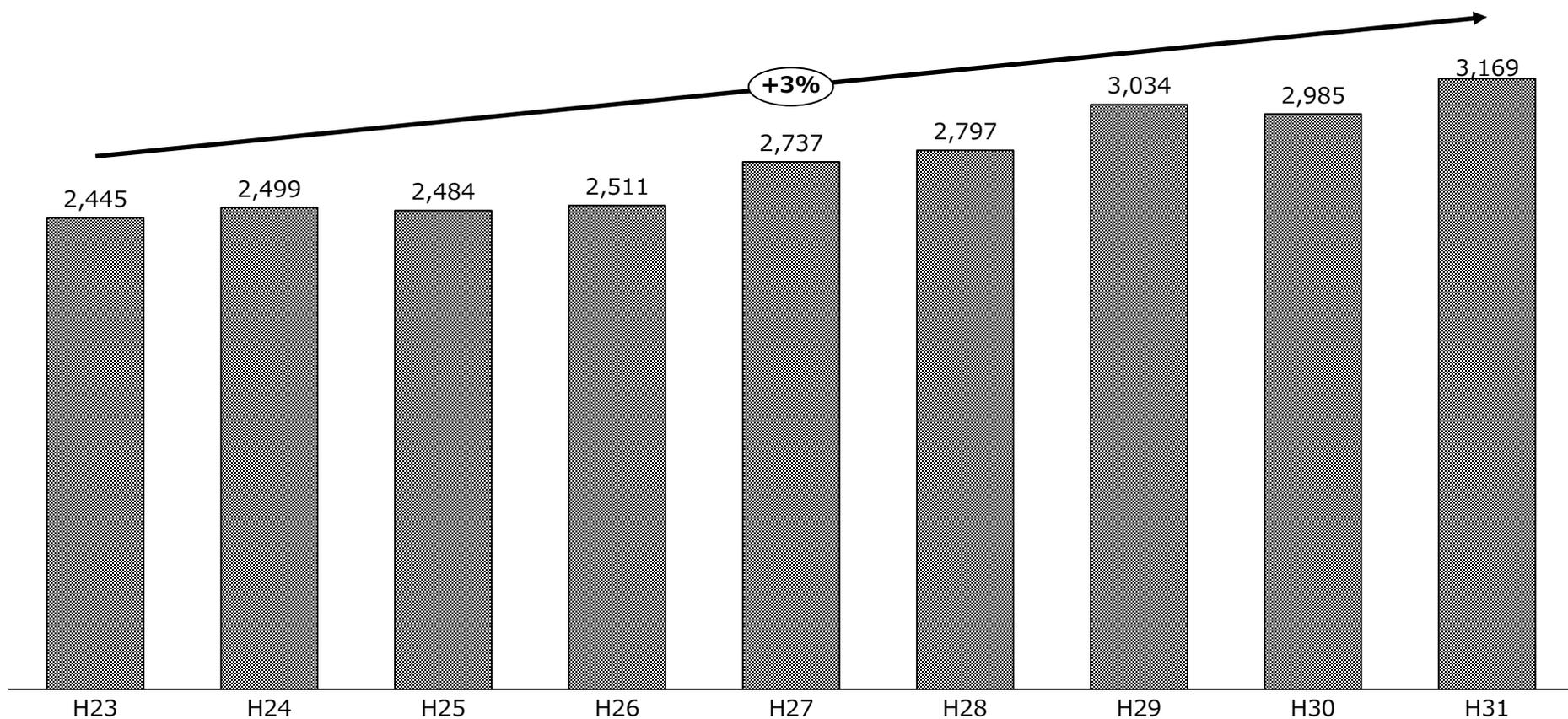
“看取り死”の推移

(以降の分析は、“看取り死を母集団とする)

“看取り死”数の推移

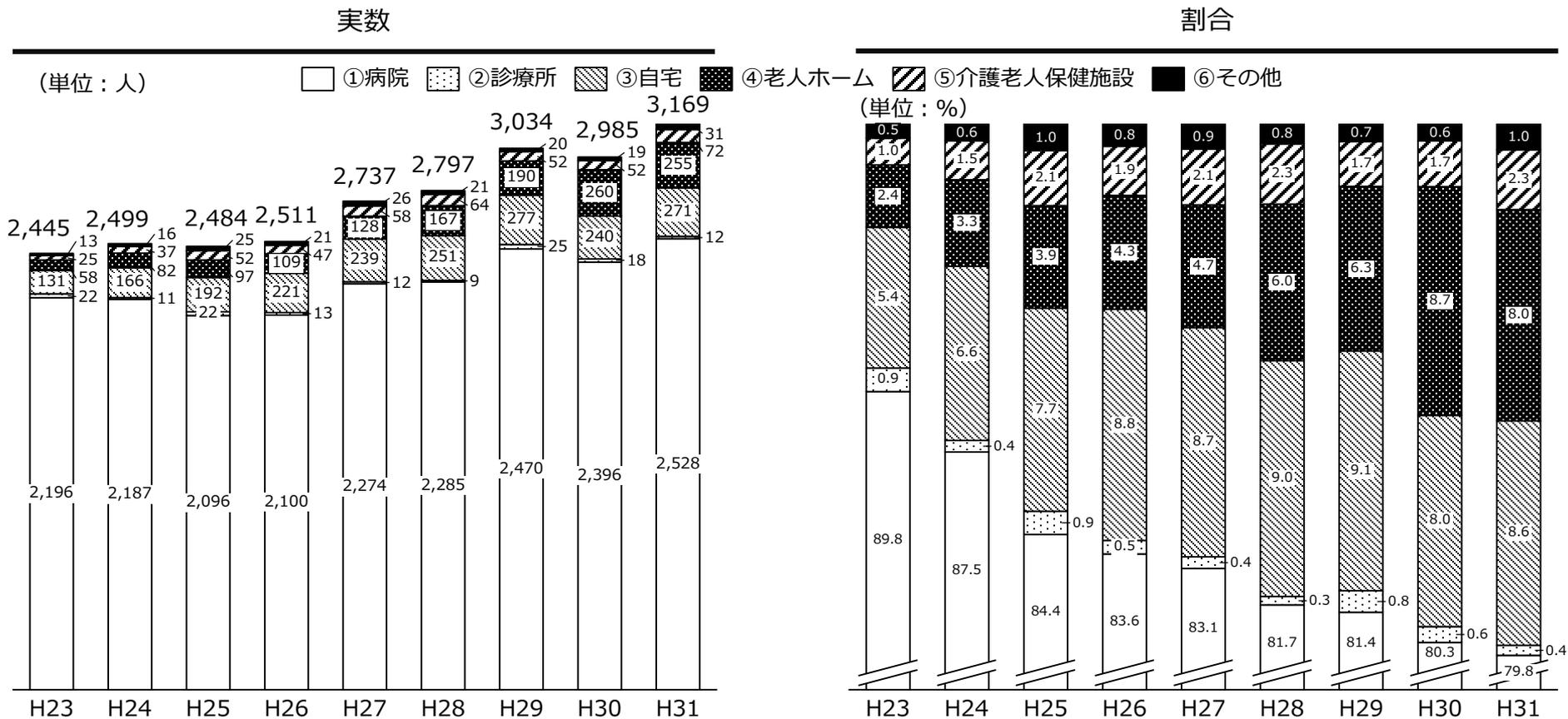
- “看取り死”数は増加傾向にあり、年率3%で増えている。

(単位：人)



死亡場所別の“看取り死”数の推移

- 老人ホームでの“看取り死”数は増加傾向にあり、平成23年と比較して約4.4倍に増加した。
- 平成22年から平成31年にかけて病院の看取りは約10ポイント減少したのに対し、自宅と老人ホームの合計値は約10ポイント増加した。



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移

- 北部、中央、南部エリアでは“看取り死”は増加傾向にあるが、東部エリアは平成29年以降横ばいで推移している。
- 特に北部エリアで老人ホームと自宅の看取り死が増加している。

北部

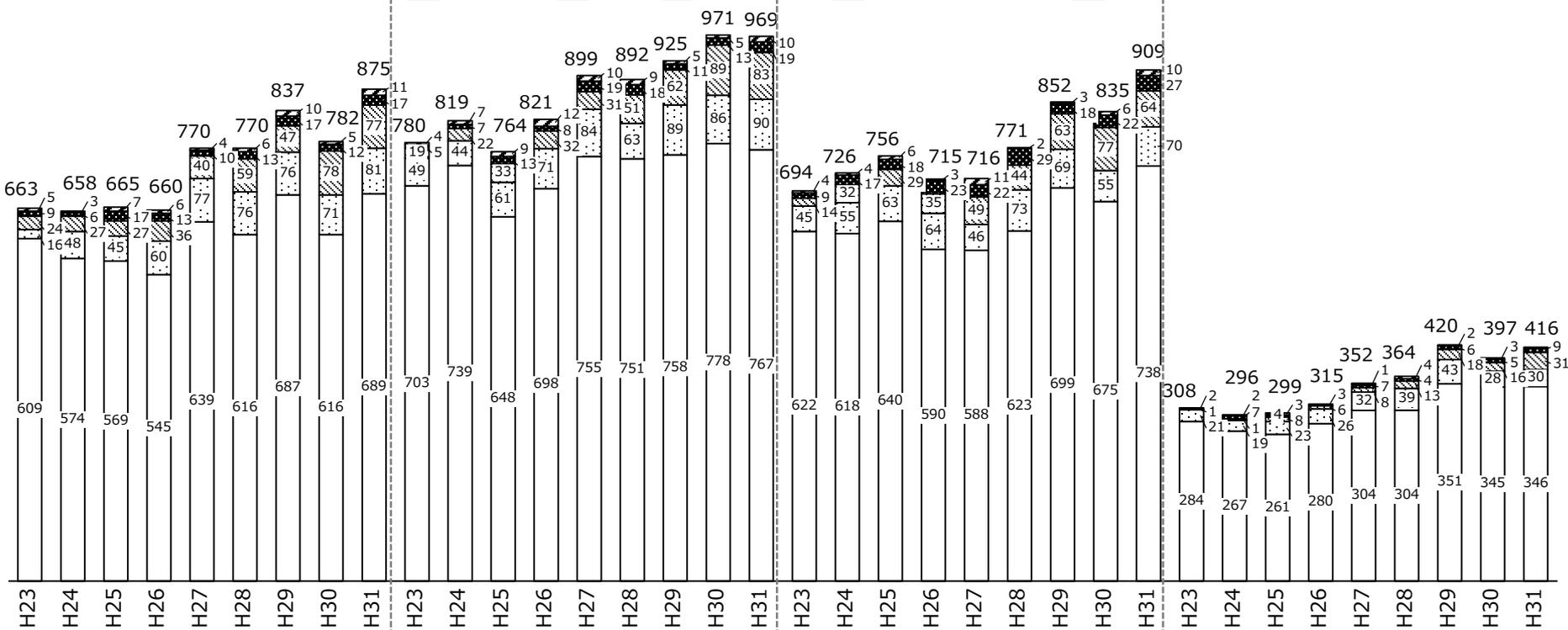
中央

南部

東部

(単位：人)

医療機関
 自宅
 老人ホーム
 介護老人保健施設
 その他



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”割合の推移

- エリアによる死亡場所別の“看取り死”の構成割合には差は見られなかった。
- どのエリアも医療機関での“看取り死”の割合は低下、自宅や老人ホームは増加傾向にあった。

北部

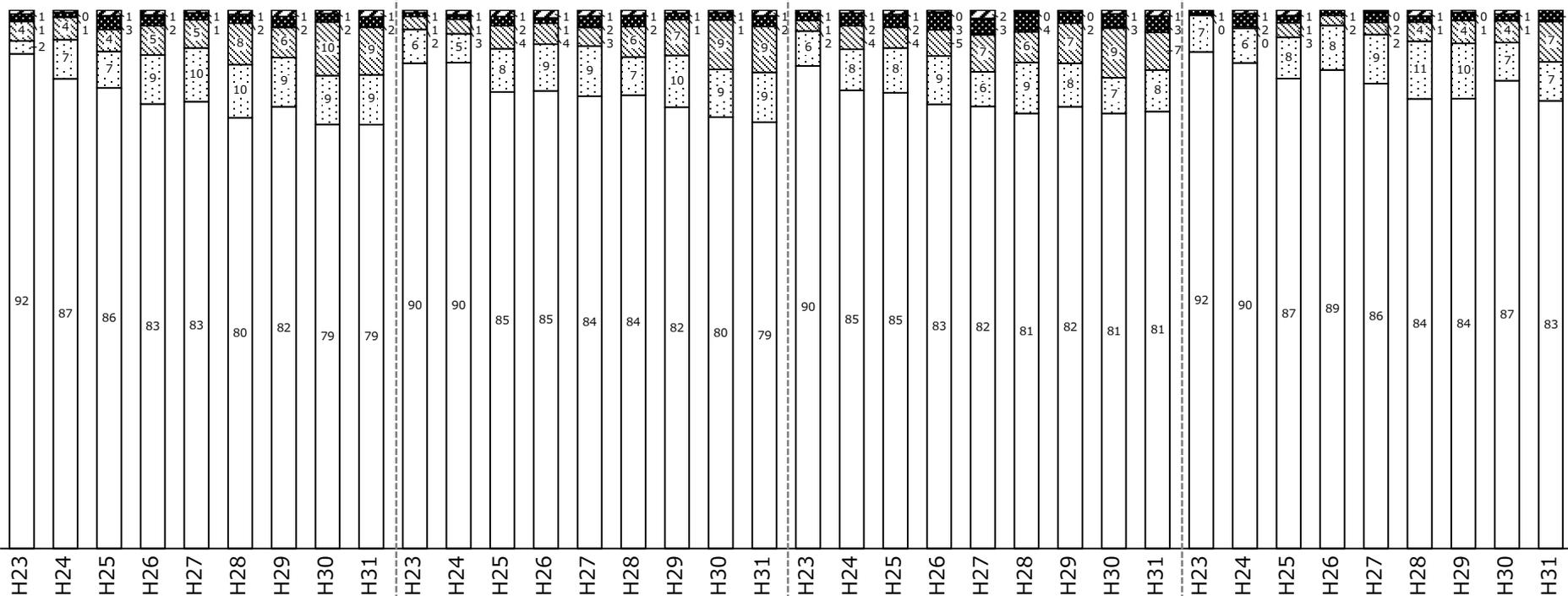
中央

南部

東部

(単位：%)

医療機関
 自宅
 老人ホーム
 介護老人保健施設
 その他



“看取り死”した方の死因の推移

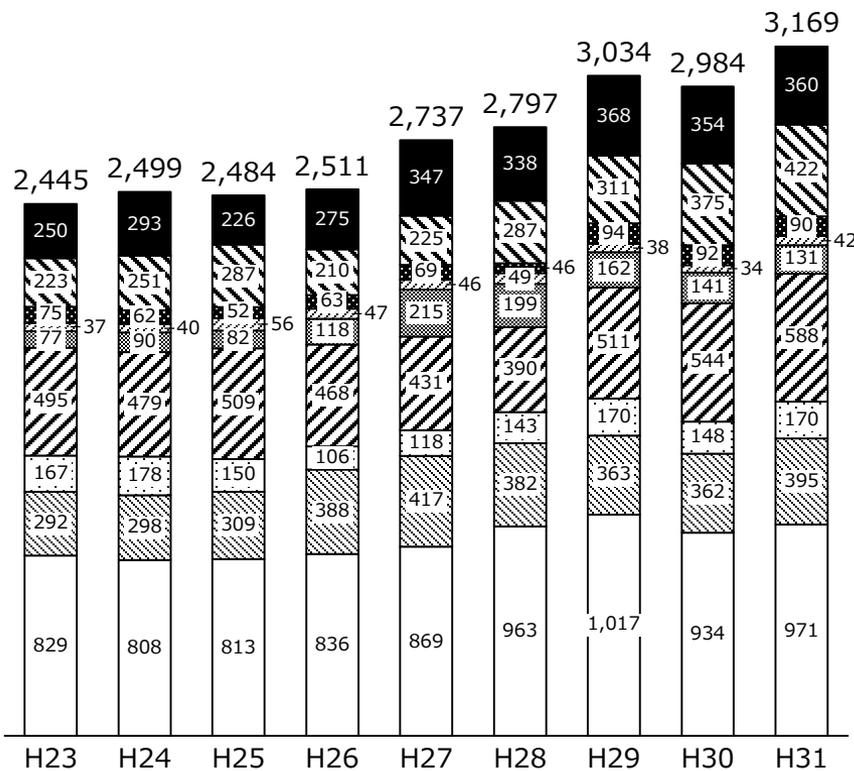
- “看取り死”した方の死因の構成比率では、老衰が増加傾向にある。

実数

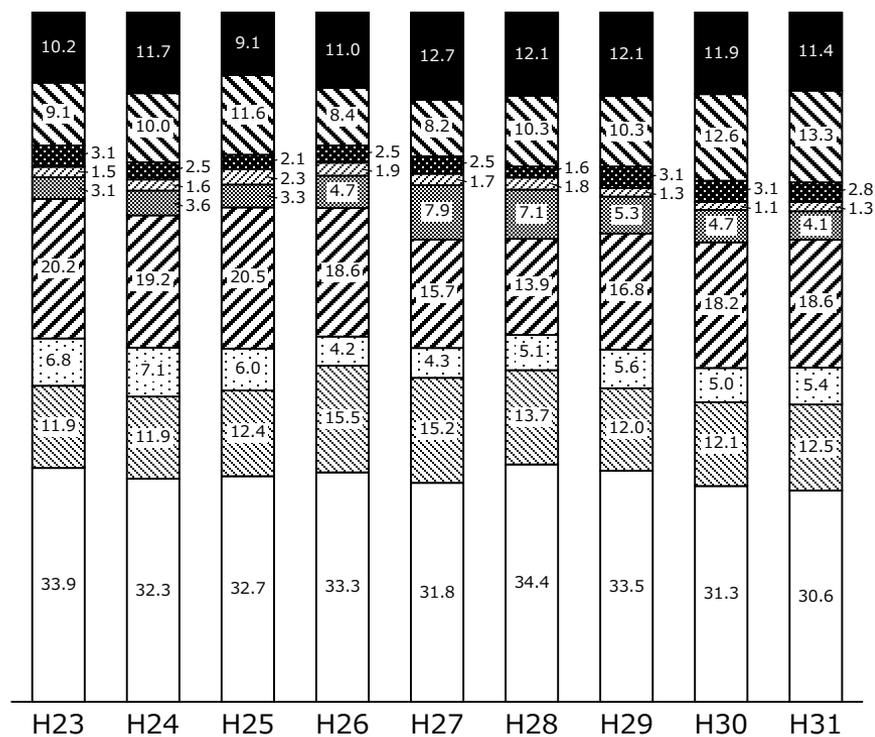
柏市民の全死亡に対する割合

(単位：人)

- ①悪性新生物
- ▤ ②心疾患
- ▨ ③脳血管疾患
- ▧ ④肺炎
- ▩ ⑤呼吸器疾患（肺炎と5類を除く）
- ▦ ⑥肝疾患
- ▧ ⑦腎疾患
- ▩ ⑧老衰（認知症を含む）
- ⑨その他の死因



(単位：%)

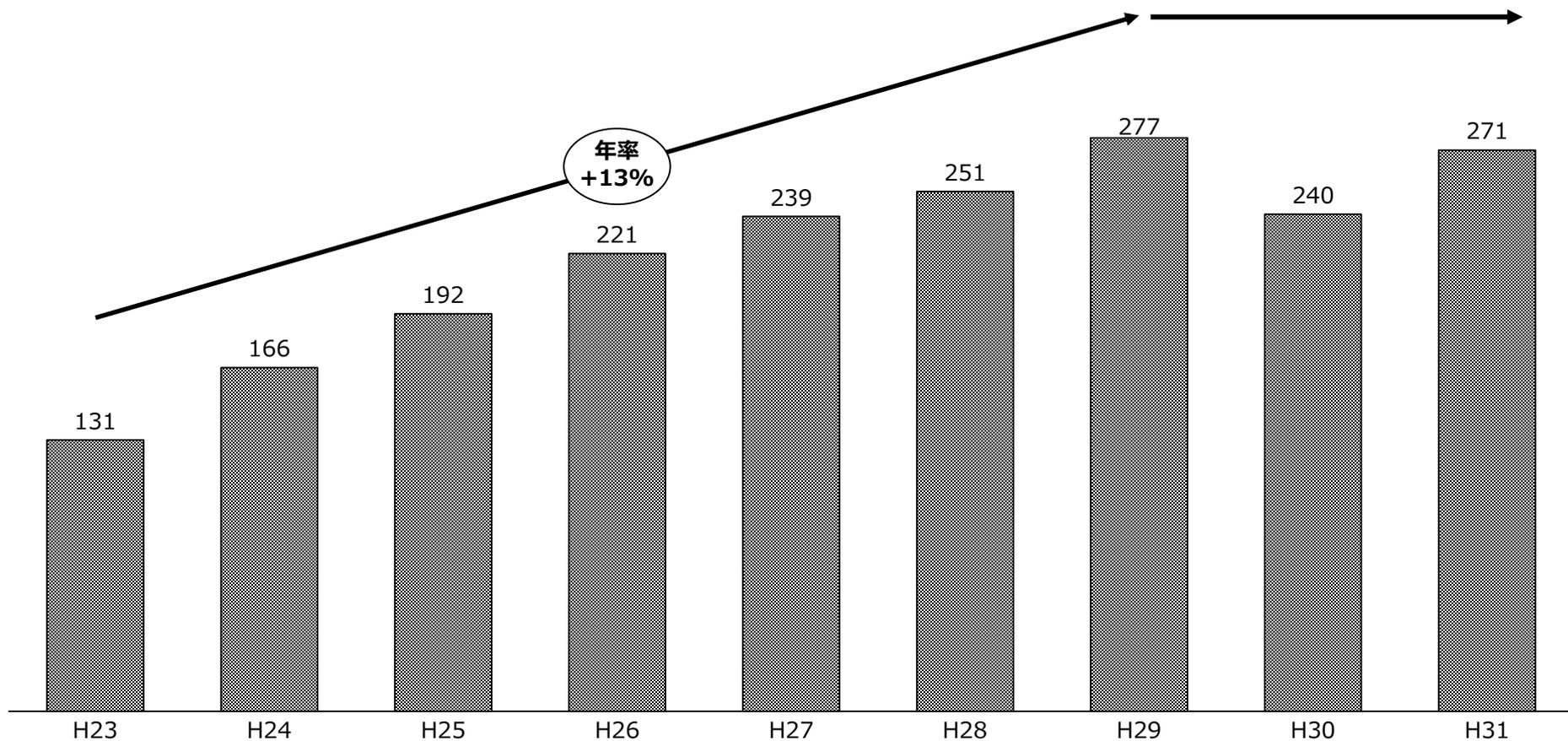


自宅での“看取り死”の推移

自宅での看取り件数の推移

- 自宅での“看取り死”数は平成29年まで増加、その後は横ばいで推移している。

(単位：人)



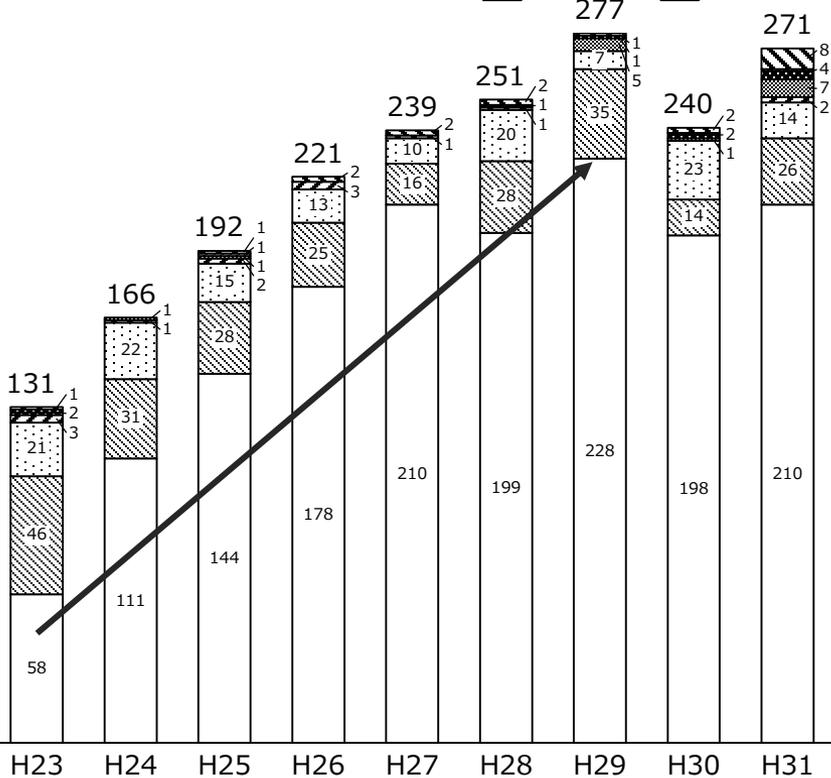
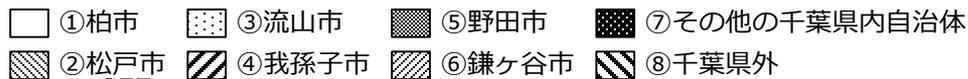
医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取り件数は平成29年までは増加、それ以降は横ばいで推移している。
- 一方で柏市内の機関による看取りの割合は平成26年以降横ばいで推移している。

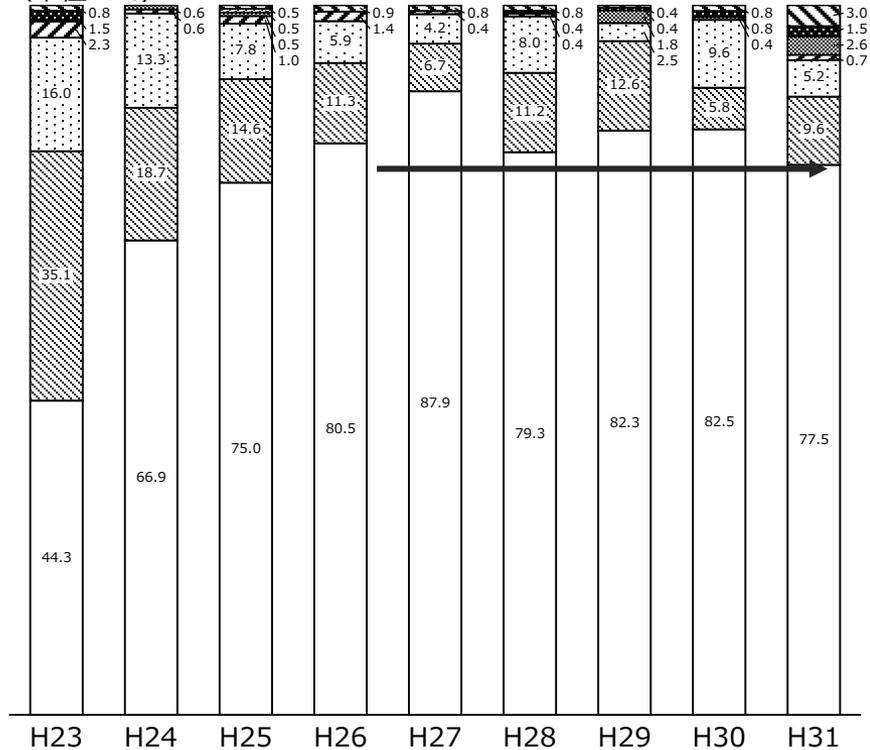
実数

割合

(単位：人)

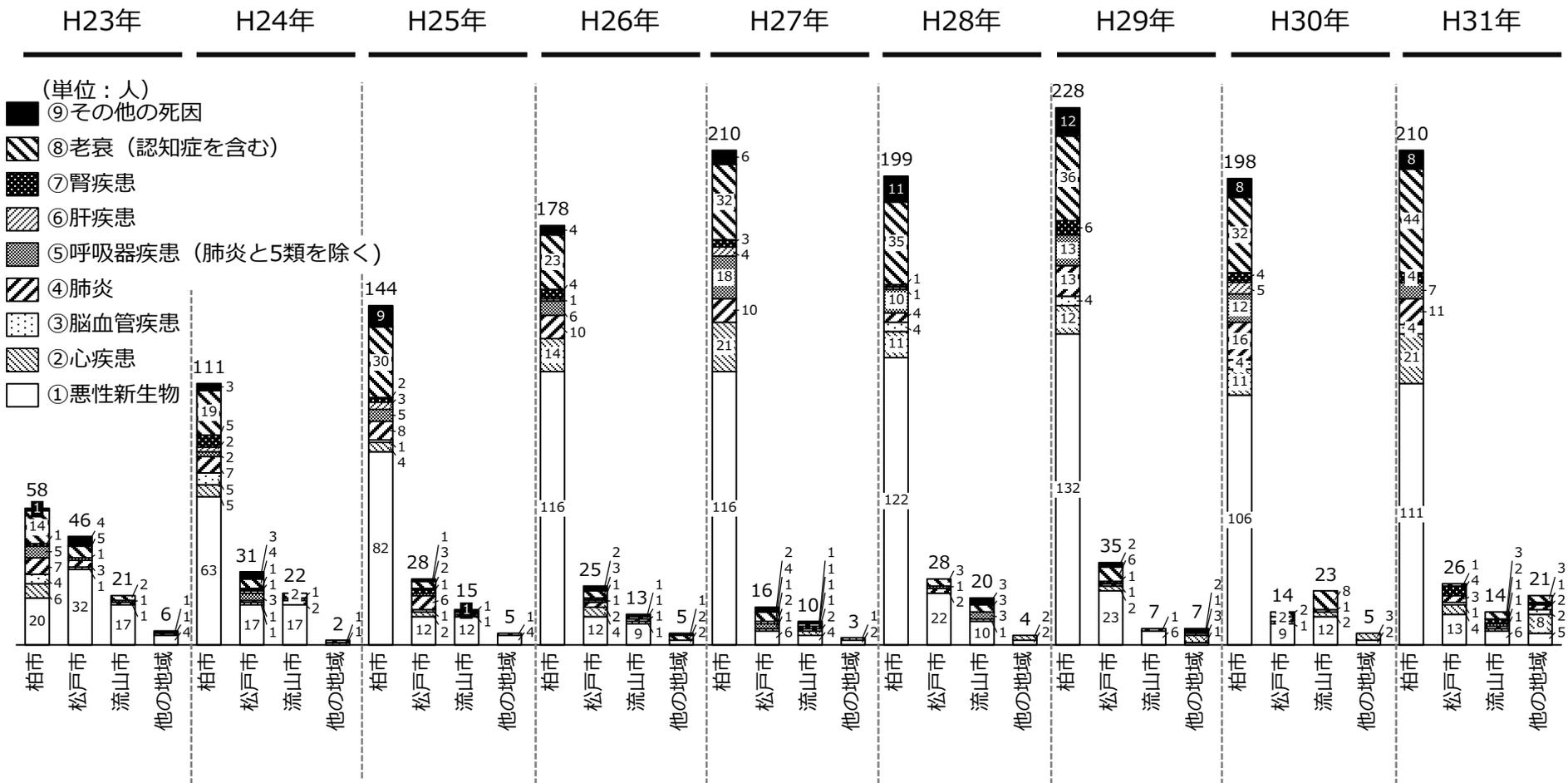


(単位：%)



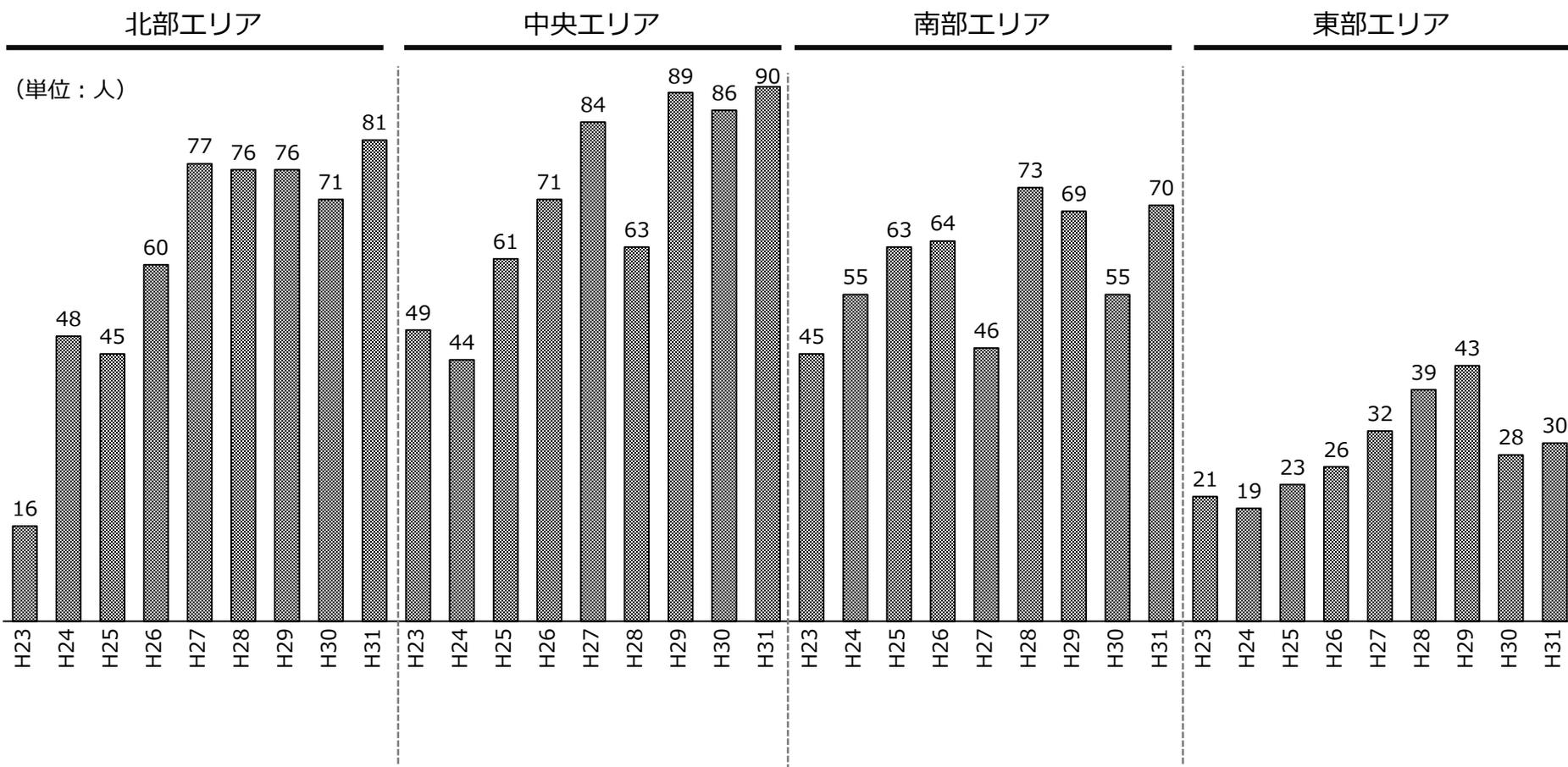
死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関によるがん看取りの件数は平成29年まで増加傾向だったが、平成30に減少している。



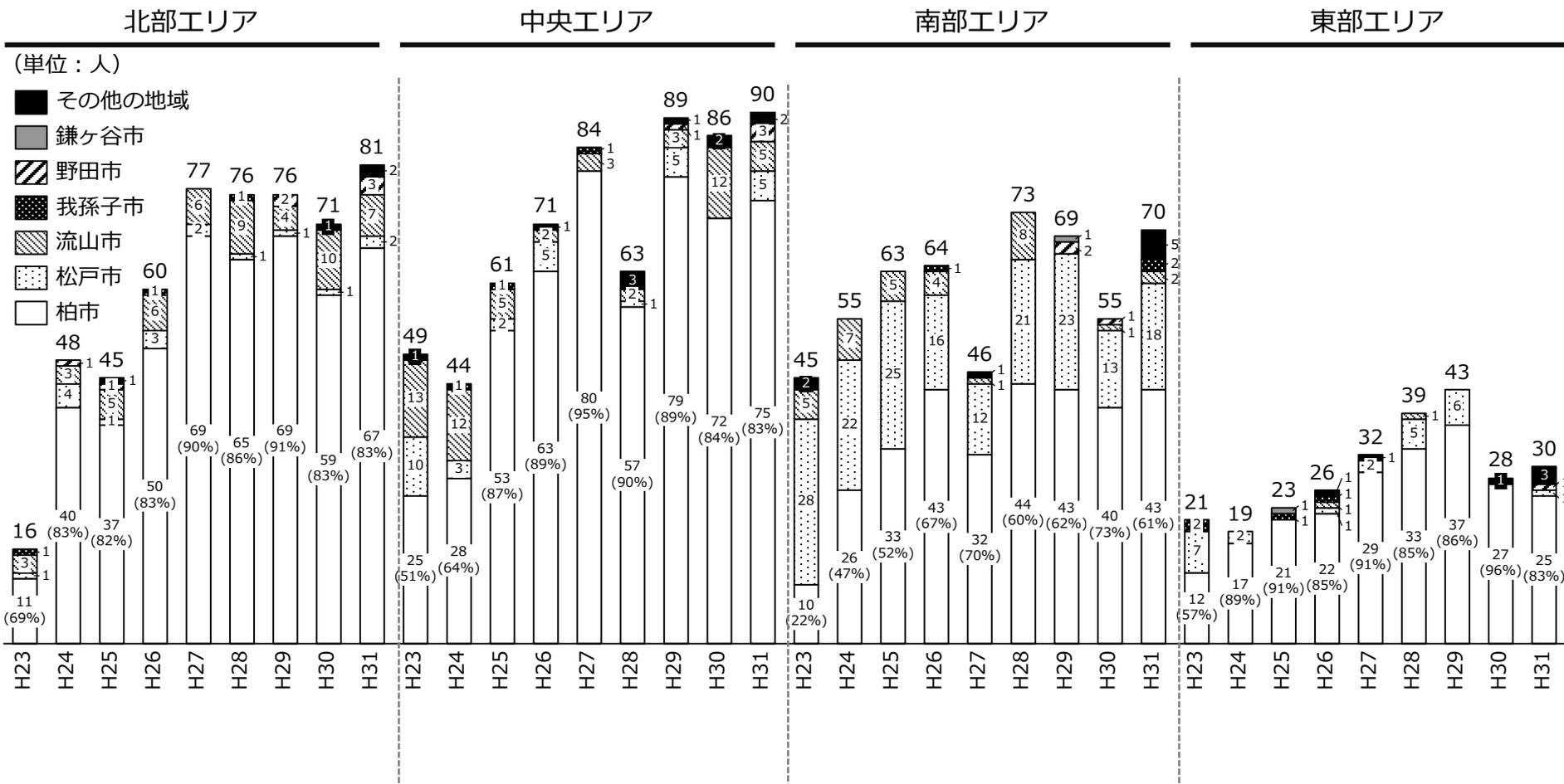
市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移

- 東部エリアを除き、平成26年まではどのエリアも自宅“看取り数”は増加傾向にあったが、それ以降は増減を繰り返して推移している。



市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析

- 平成23年から比較すると、どのエリアも柏市内の医療機関による看取り件数・割合は増加傾向にある。
- 看取りの市内完結率は南部エリアが61%と、他のエリアよりも低くなっている。



その他のデータ

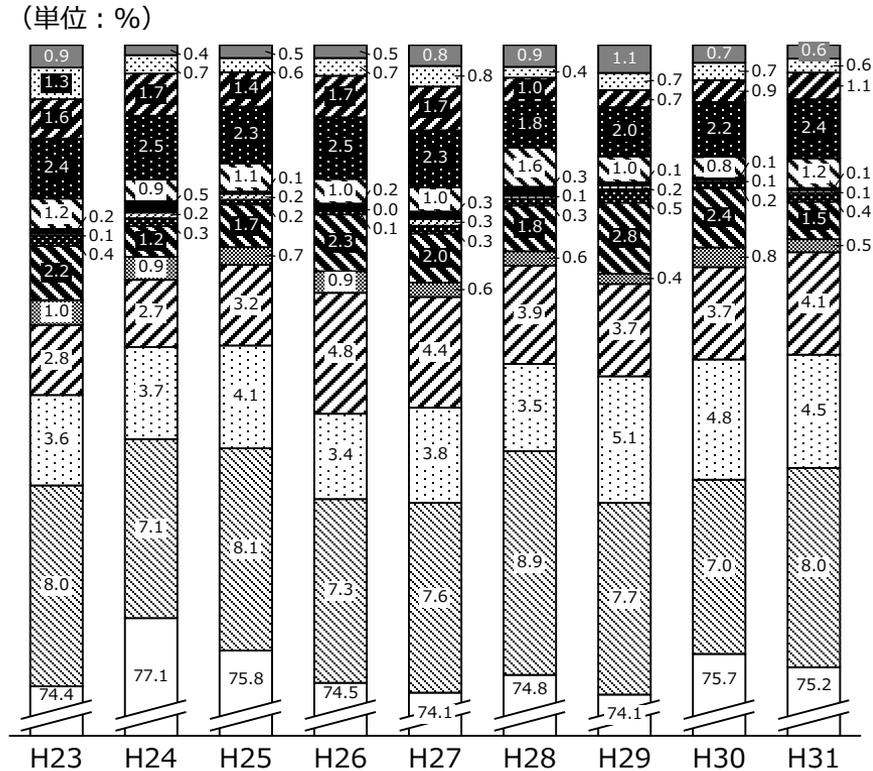
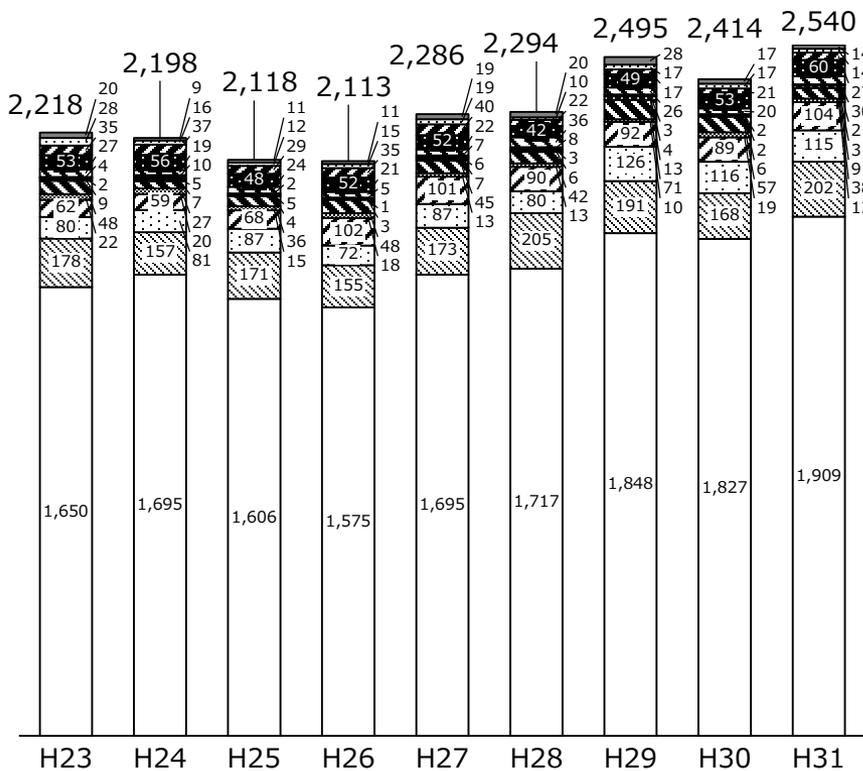
医療機関の立地別の医療機関での看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取り件数は増加傾向にあるが、割合は75%前後で推移している。
- 他市では、松戸市、流山市、我孫子市の割合が高い。

実数

割合

(単位：人) □ ①柏市 ▨ ③流山市 ▩ ⑤野田市 ▪ ⑦白井市 ▫ ⑨千葉市 ▬ ⑪東京都 ▭ ⑬埼玉県
 ▮ ②松戸市 ▯ ④我孫子市 ▰ ⑥鎌ヶ谷市 ▱ ⑧印西市 ▲ ⑩その他の千葉県内自治体 △ ⑫茨城県 ▴ ⑭その他の都道府県（国外・不詳含む）

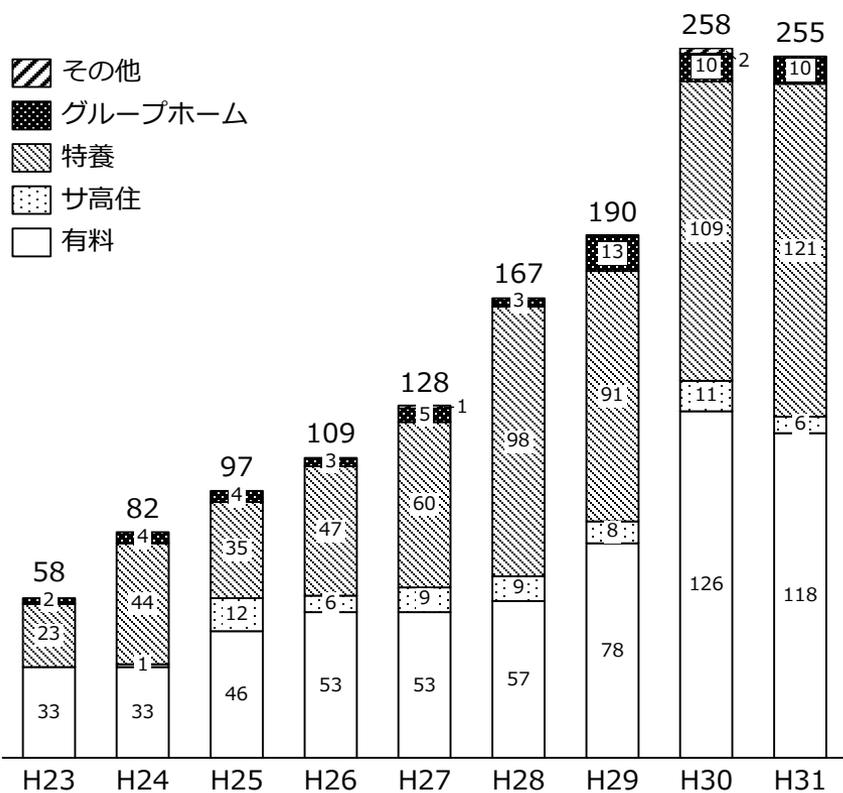


老人ホームの種別ごとの看取り件数の推移

- 特養での看取り件数は一貫して増加傾向にある

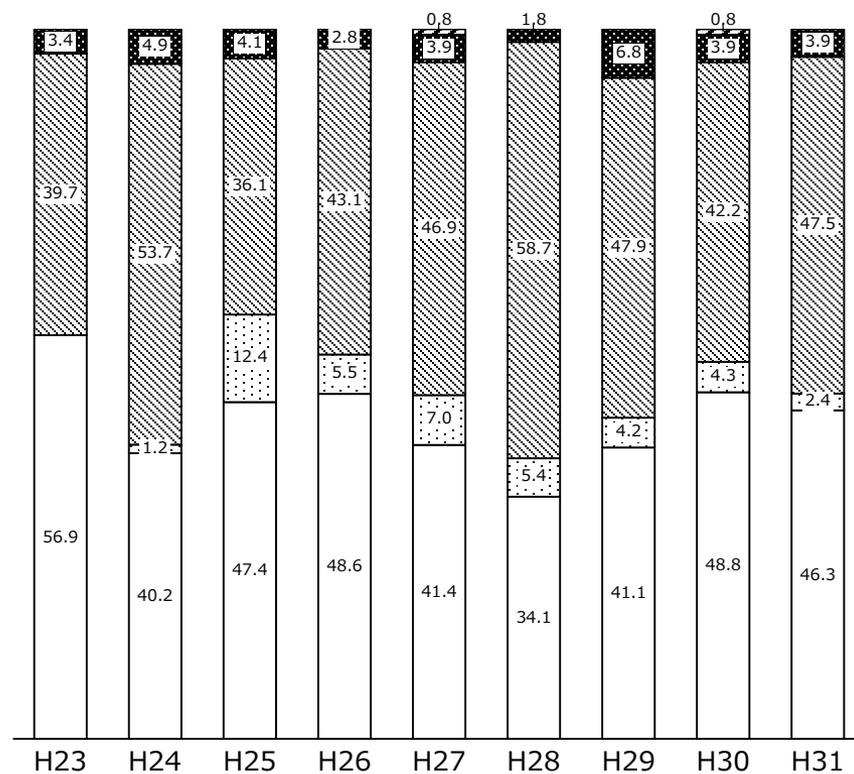
実数

(単位：人)



割合

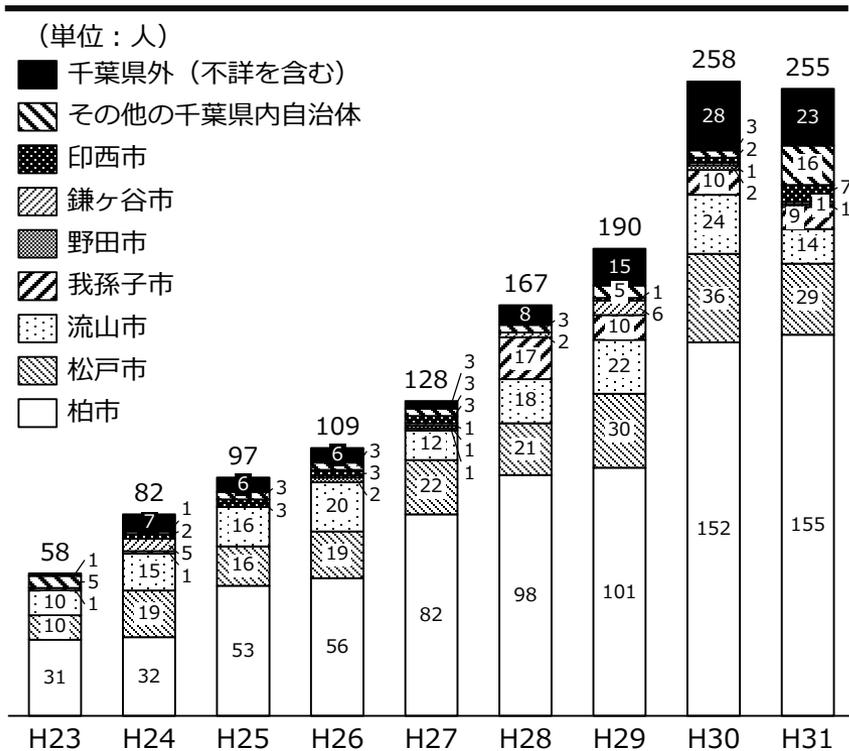
(単位：%)



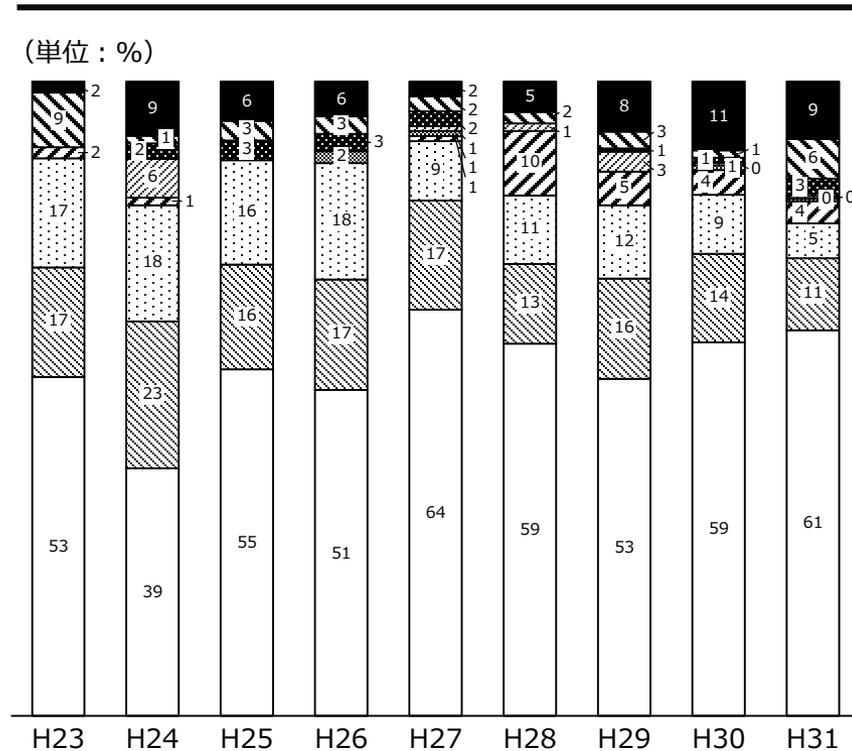
老人ホームで看取りをした医療機関の立地ごとの看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取り件数は増加しつつあるもの、割合は横ばいで推移している。

実数



割合



市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移

- 平成23年と比較すると全てのエリアで大幅に増加している。

